

# 災害時に求められる 歯科医療職の連携体制

(一社) 岩手県歯科医師会 会長  
(公社) 日本歯科医師会 災害時対策・警察歯科総合検討会議 副委員長  
大黒英貴

- ・ 過去の震災からの教訓
- ・ 災害時の歯科支援の目的とは
- ・ 行政、他団体、大学との連携体制
- ・ 実際の支援活動(受援も含めて)

## 過去の災害から見てくるもの



〈平成30年度災害歯科保健医療体制研修会資料〉



## 2011年3月11日 東日本大震災

- 巨大地震・津波・原発事故
    - ・ マグニチュード 9.0
    - ・ 最大震度 7
    - ・ 死者:15900人 行方不明者:2520人
    - ・ 発災直後の避難者:約47万人
- (2023年12月現在)

自然災害か人災か？

- 私たちが生きている時代で最大の災厄

# 東日本大震災翌日の岩手県歯科医師会の初動

3月12日(土) AM 5時30分 県警本部での打合せ会議(警察歯科役員)  
 6時00分 岩手県警の最優先の緊急電話使用、上京中の県歯会長と連絡各役員等に連絡



8時00分  
 第1回災害対策本部会(県歯会館)

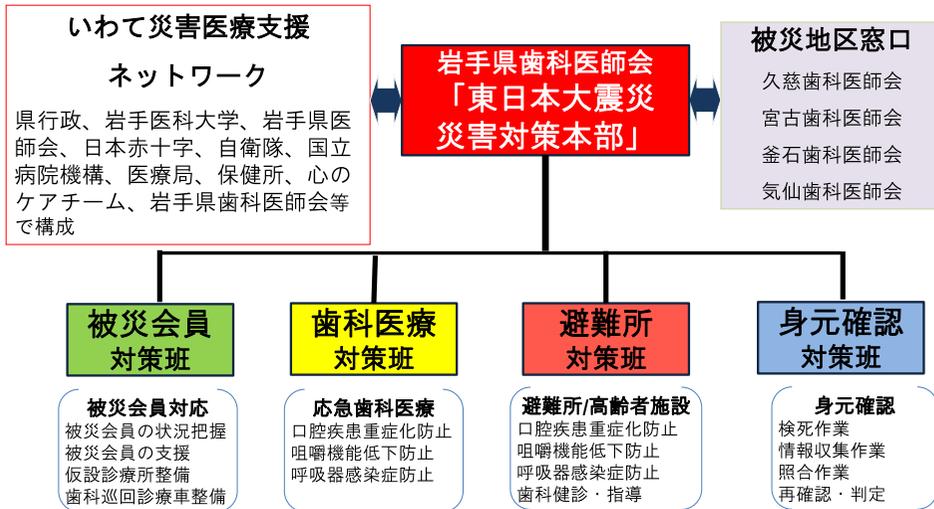
# 東日本大震災時 いわて災害医療支援ネットワーク

現在の  
 災害保健医療  
 福祉介護  
 調整本部



2011/3/30 撮影

# 岩手県歯科医師会災害対策本部構成



# 岩手県歯科医師会災害対策本部対応月表

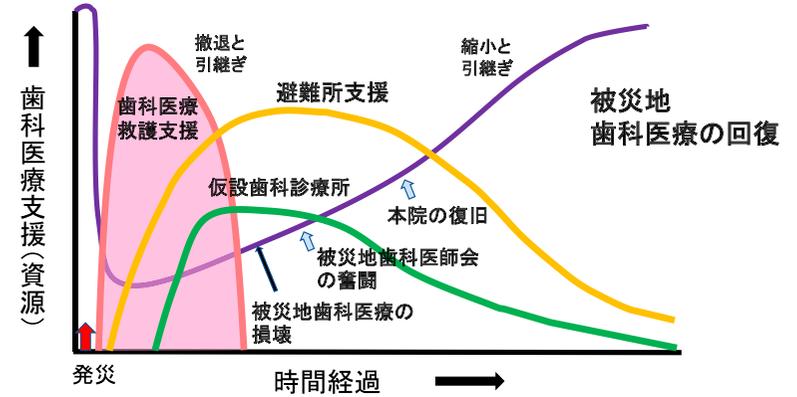
月日	2011												2012																								
	3月					4月					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	11	12	15	18	19	25	27	30	31	1	11	15	25	27	28	2	17	22	26	2	3	8	14	28	1	3	23	8	22	7	4	1	11	25			
身元確認対策班	身元確認作業																																				
歯科医療対策班	情報収集作業・照合作業																																				
避難所対策班	先遣隊 愛知県歯 歯〜とびあ号 避難所 口腔ケア活動 口腔ケア活動 8020推進特別事業																																				
被災会員対策班	会員安否確認 見舞金・共済金・義援金 会費・保険料減免措置 要領書提出 仮設歯科診療所支援 歯科巡回診療車支援 地域医療再生基金 3次補正																																				
	東日本大震災発生																																				

3 月						4 月						
翌日	3/15	3/18	3/23	3/25	3/30	4/1	4/7	4/11	4/15	4/18	4/25	4/28
対策本部設置	会員被害状況調査開始	身元確認作業再確認研修会	県歯会長ら現地状況確認開始	歯科関係者合同対策会議	避難所口腔保健状況調査(先遣隊)	歯科医療・口腔ケアチーム派遣	日歯役員来県	日歯へ要望書	被災地へ仮設診療所説明会開始	義援金配分決定	県が仮設診療所補助金方針固める	地域医療再生臨時特例交付金
身元確認作業開始		県知事懇談	日歯支援物資			見舞金送付	共済金手続き通知	器具材料等協力要請				

**歯科関係者合同会議**

県歯科医師会  
県行政  
岩手医科大学歯学部  
県歯科衛生士会  
県技工会  
歯科メーカー、材料商

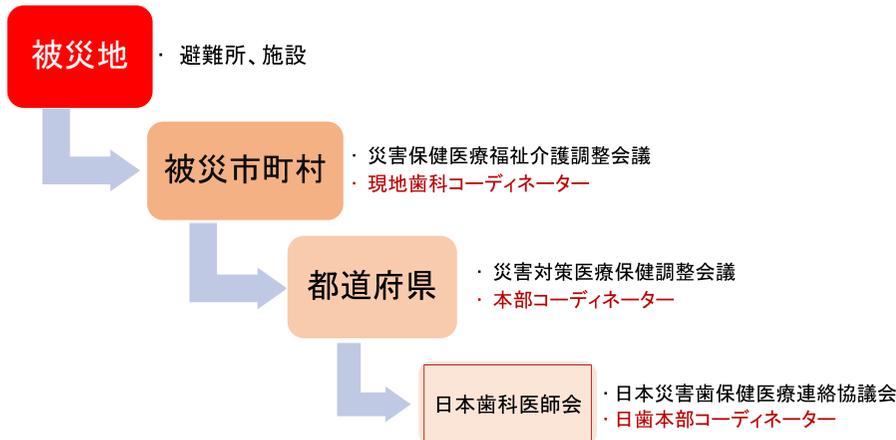
## 歯科医療支援の概念図



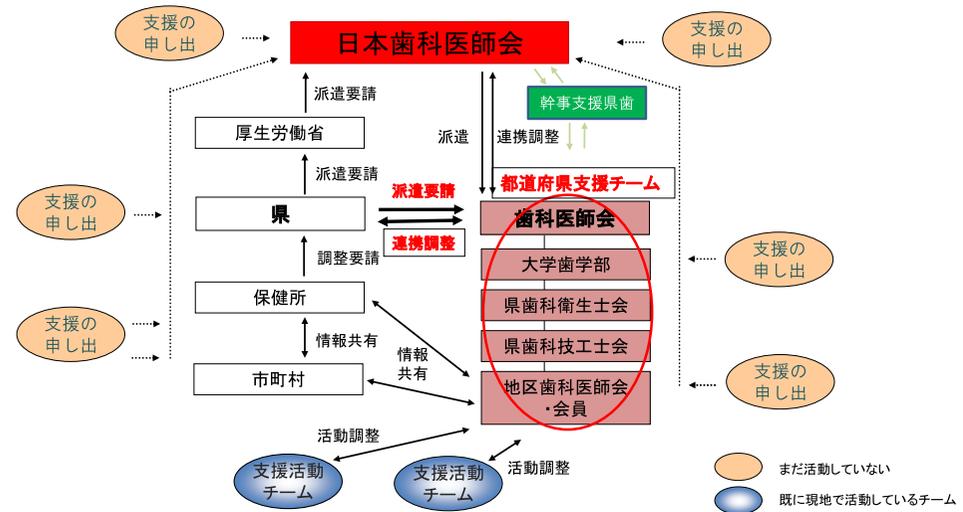
大黒英貴 災害歯科医学 P58 医歯薬出版



## 情報の収集・記録・伝達・共有が大切



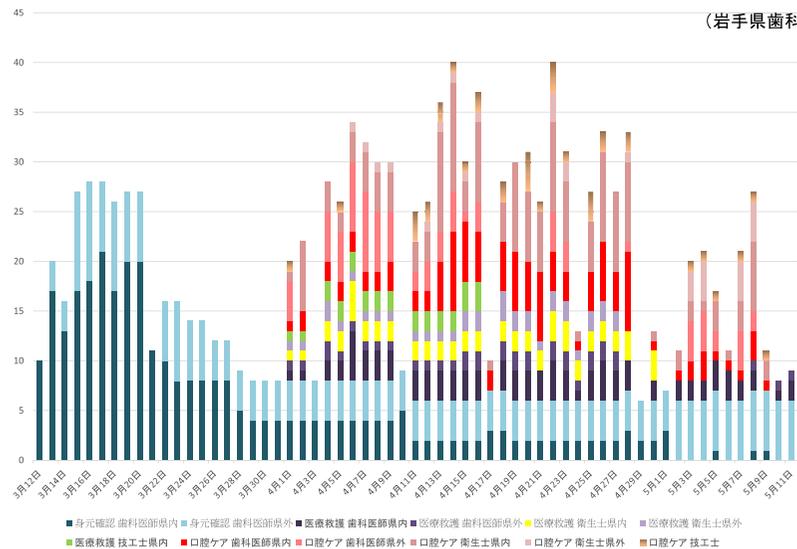
## 支援窓口の一本化(都道府県歯・受援)





# 東日本大震災 歯科医療職種派遣数

(岩手県歯科医師会調査)



# 災害時の歯科医療救護に関する 協定書に基づく活動報告



歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	看護師	合計
417名	425名	139名	4名	985名

- 岩手県歯科医師会 (実動日数 60日)  
歯科医師 229名 歯科衛生士 223名 歯科技工士 35名
- 岩手県歯科衛生士会 (42日) 92名
- 岩手県歯科技工士会 (49日) 50名
- 岩手医科大学歯学部 (30日)  
歯科医師 52名 歯科衛生士 28名 歯科技工士 22名
- 他県歯科医師会 (41日)  
歯科医師 51名 歯科衛生士 52名
- 全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会(HDC) (27日)  
歯科医師 85名 歯科衛生士 30名 歯科技工士 32名  
看護師 4名

## 歯科衛生士の支援活動

## 歯科技工士の支援活動

## 現地での義歯製作



## 災害関連死が出た災害

発生年	名称	関連死	発生年	名称	関連死
1995	阪神大震災	921	2018	大阪府北部地震	2
2004	新潟県中越地震	52		西日本豪雨	84
07	新潟県中越沖地震	4		北海道胆振東部地震	3
09	中国・九州北部豪雨	5	19	台風15号	12
11	東日本大震災	3802		台風19号	31
	紀伊半島豪雨	6		2019年10月25日豪雨	1
14	広島土砂災害	3	20	球磨川豪雨	2
15	関東・東北豪雨	13	21	福島県沖地震	1
16	熊本地震	222		熱海土石流災害	1
	台風10号	5	22	台風15号	3
17	九州北部豪雨	1	23	秋田豪雨	5
	台風21号	1	24	能登半島地震	※449
					計 5629人

2025.1.6  
共同通信調べ  
(岩手日報)  
※2025.1月石川県  
発表

## 歯科支援の目的は？

地域の歯科保健医療の確保

災害関連疾病の予防

## 歯科保健医療支援のロジスティクスとは？

災害時における歯科保健医療チーム(JDAT)の支援活動を実施するため、専門性を活かした後方支援や業務調整をすること。

そのために人的物的資源や輸送・移動手段の確保、通信環境の整備などを含めて組織(職種)横断的な活動ができるようにすること。

## 令和6年 日本歯科医師会 災害準備用登録票調査

緊急連絡方法	都道府県歯数	その他
災害時優先電話	14 (13)	
衛星携帯電話	17 (16)	複数台所持 (イリジウム・ワイドスタータイプ、地域ごとに配備等)
アマチュア無線	1 (1)	
防災行政無線	2 (2)	
SNS (安否確認含む)	17 (13)	LINE, Facebook, X 等
歯科診療車	15 (16)	行政保有(7)含む
会員安否確認方法	27 (22)	電話・ファックス等以外のシステム運用

令和6年8月調査 (カッコ内は前年)

遠野市後方支援活動検証記録誌



縁が結ぶ復興への絆  
遠野市

3.11 東日本大震災  
遠野市後方支援活動検証記録誌より

岩手県  
歯科医師会  
も同様な  
後方支援

前線支援の後方支援拠点をどこに置くか？

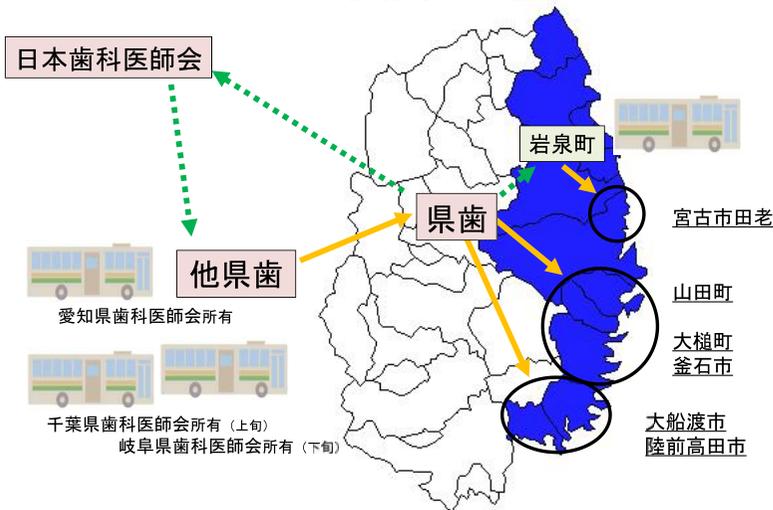
- ・東日本大震災では沿岸市町村が行政機能を失い、**遠野市が前線支援の後方拠点**となった（遠野モデル）
- ・被害の小さい近隣自治体が「国一県一市町村」の縦割りを超え、救助から自立支援まで寄り添った。
- ・遠野市が沿岸までほぼ**50キロ圏内に収まる「扇の要」**に位置し、自衛隊、警察、消防、**医療チーム**、ライフライン関連企業、ボランティアが**拠点**を置いて活動。
- ・震災後いち早く沿岸へ支援物資を発送。
- ・遠野モデルは、主体的な判断で被災地に**物資や職員**を送る**初期の「プッシュ型」**から、**ニーズを把握して支援する「プル型」**への移行までの幅広い展開が特長。

歯科医療対策班の活動について(4月～5月)

移動診療車の派遣(4月1日～4月28日)

対策本部を  
どこに設置  
するか？

●●●●● 派遣要請  
→ 派遣



各コーディネーターの役割、構成員



現地  
コーディネーター

- ・地区役員
- ・被災地会員
- ・行政職
- ・事務局で先遣隊準備



都道府県歯本部  
コーディネーター

- ・会長・副会長・専務理事等
- ・理事会で共有
- ・事務局長、部長、課長

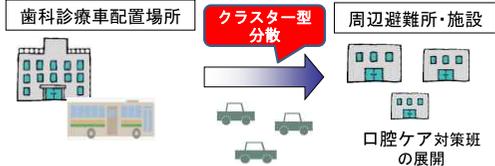


対策班別  
コーディネーター

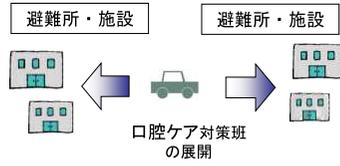
- ・常務理事、理事
- ・事務局課長、課員
- ・行政歯科医師

## 東日本大震災口腔ケア対策班の活動について (2011年4月~6月)

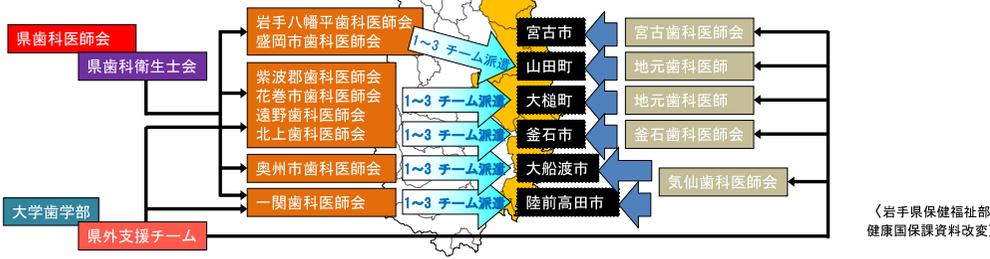
### 移動診療車同行型口腔ケア対策班



### 単独型口腔ケア対策班



地区歯科医師会による横の支援>



## 情報のマッチング・派遣計画の作成

<情報収集・分析>

災害対策本部医療保健会議から  
避難所の場所 医療チーム・拠点救護所の配置  
避難者数

都道府県歯科医師会から  
会員歯科診療所の被災状況と診療再開状況  
移動診療車 他県から 2台 自県手配 1台



通行可能路線図に  
・記載されていない避難所  
・拠点救護所  
・診療を再開している歯科診療所の場所を追記



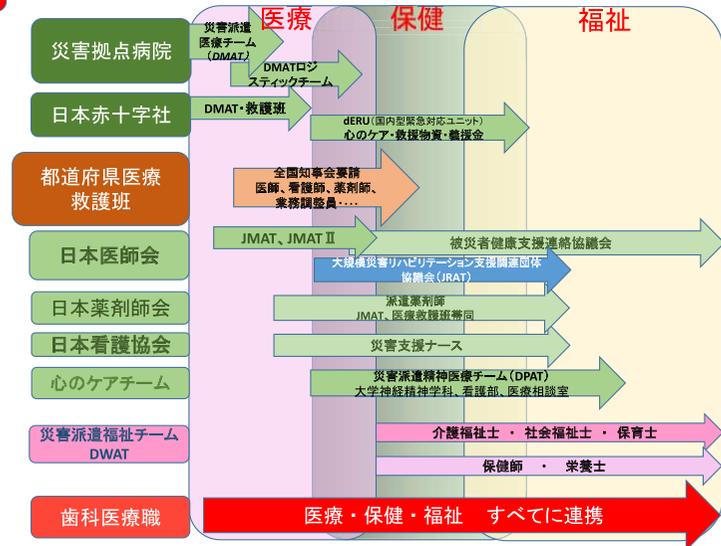
## 2016年 熊本地震

- 前震 : 2016年4月14日 21時26分
  - ・マグニチュード 6.5
  - ・最大震度 7 (熊本県益城町)
- 本震 : 4月16日 1時25分
  - ・マグニチュード 7.3
  - (1995年阪神淡路大震災と同規模)
  - ・最大震度 7 (熊本県西原村、益城町)

支援

## 組織による災害医療・保健・福祉活動の実際

(2016 熊本地震 いわて災害医療支援ネットワーク会議から)



## 大学歯学部との申し合わせ・民間企業との鼎談

### ・関係団体との連携構築

岩手医科大学歯学部との申し合わせ

(2018年6月)

岩手県と(株)サンスターとの協定

(2022年6月)



### ・派遣者の身分保障・費用弁償

## 申 合 せ

第1 一般社団法人岩手県歯科医師会と岩手医科大学歯学部長は、大規模事故・災害等の発生時における多数死体の検視協力および災害歯科医療に従事のため日本歯科医師会および岩手県、岩手県警察等から歯科医師派遣について申し出があった場合、その派遣について一般社団法人岩手県歯科医師会から岩手医科大学歯学部長に協力要請する事に関して、本申合せを締結する。

第2 一般社団法人岩手県歯科医師会会長は、岩手県警察本部長より「事故災害時における警察への協力要請」があった場合は、岩手医科大学歯学部は協力要請を行うことができる。岩手医科大学歯学部は一般社団法人岩手県歯科医師会と連携を密にし、速やかに連携体制を整え、大規模事故・災害等の発生時における身元不明死体等の検視、歯牙検査並びに身元確認を行う。

第3 一般社団法人岩手県歯科医師会会長は、日本歯科医師会および岩手県より「災害歯科医療」への協力要請があった場合は、岩手医科大学歯学部は協力要請を行うことができる。岩手医科大学歯学部は一般社団法人岩手県歯科医師会と連携を密にし、速やかに連携体制を整え、災害歯科保健医療活動を行う。

第4 一般社団法人岩手県歯科医師会会長は、会員から大規模事故・災害等の発生時における検視協力、歯牙検査等の身元確認業務および災害医療に従事のため、歯科医院での歯科診療業務の履行が不可能となり、地域住民の歯科医療提供に支障がある場合、一般社団法人岩手県歯科医師会会長から岩手医科大学歯学部長に歯科診療所へ、歯科医師の派遣要請をすることができるものとする。派遣にあたっては、岩手医科大学歯学部長と一般社団法人岩手県歯科医師会会長との間で締結している「岩手県歯科医師会休業時派遣要項」を準用する。

第5 一般社団法人岩手県歯科医師会と岩手医科大学歯学部は、大規模事故・災害等の発生時の連携強化のために、災害合同訓練を行うこととする。

第6 大規模事故・災害等の発生時に本申合せおよび協力要領に定めのない場合は、一般社団法人岩手県歯科医師会会長と岩手医科大学歯学部長が協議し定める。

平成30年6月8日

盛岡市盛岡駅西通二丁目5番25号  
一般社団法人岩手県歯科医師会

会 長

佐藤 保



盛岡市中央通一丁目3番27号  
岩手医科大学歯学部

歯学部長

三浦廣行



## 2024年1月1日 能登半島地震

### ・地震・津波・住家倒壊

- ・マグニチュード 7.6
- ・最大震度 7 (志賀町、輪島市)
- ・死者: 245人 住家全壊8,605棟 半壊18,980棟
- ・避難者数: 6,328人
- ・避難所数: 326
- ・ライフライン 上水道 約6,200戸断水  
道路 49区間通行止め

(2024年4月9日現在)

## 能登半島 仮設避難者 約1万8千人

岩手日報2025.12月記事より



仮設住宅 6882戸  
災害公営住宅 2986戸  
(約1万3300人)

みなし仮設住宅  
(約5000人)

# 令和6年度能登半島地震 日本災害歯科支援チーム(JDAT)派遣状況

1/7~4/27までのJDAT派遣状況

	チーム数	人数	職種の内訳				
			歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	その他
計	364	1325	806	459	12	45	3

※うち、石川県は236チーム

# 岩手県歯科医師会会員の被災状況

- 死者 **5名**
- 診療所 全壊 **40件**
  - 大規模半壊 **10件**
  - 半壊 **6件**
  - 一部損壊 **37件**



## 歯科医院全壊地区

田老地区、山田町、  
大槌町、  
陸前高田市

## 仮設歯科診療所 (第一次補正予算)

14 仮設歯科診療所

- 田老地区： 1
- 大槌町： 1
- 釜石市： 4
- 大船渡市： 3
- 陸前高田市： 5

## 医療施設等災害復旧費補助金について

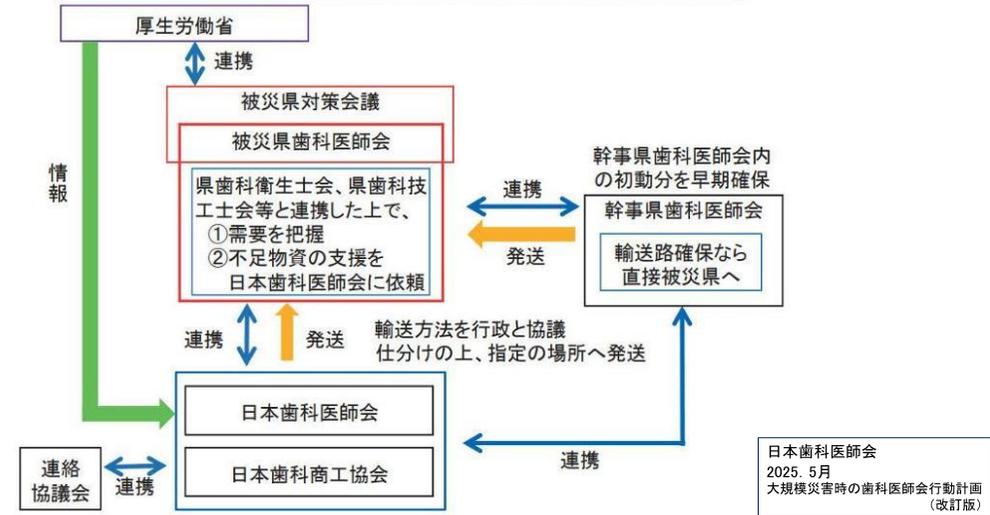
事業内容	地震や台風、豪雨等の自然災害により医療施設等が被災したときは、被災した医療施設等の管理者がその原形復旧を行うことになるが、 <u>公的医療機関や政策医療を実施している医療機関等</u> 、一定の要件に該当する医療施設等の復旧事業について、国がその経費の一部を補助するもの。	
交付対象施設	補助率・対象経費	
	<b>①医療機関</b> 1) <u>公的医療機関</u> 地方自治体、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生農業協同組合連合会 等 2) <u>政策医療実施機関(公的医療機関除く)</u> 救命救急センター、病院群輪審制病院、在宅当番医制診療所、へき地医療拠点病院 等 <b>②医療関係者養成施設</b> 看護師等養成所、救命救急士養成所 等 <b>③上記以外</b> 研修医のための研修施設、病院内保育所、看護師宿舎 等	<b>【通常の場合】</b> ○補助基準額 1) 公的医療機関： 上限額なし 2) 政策医療実施機関 ・救命救急センター 76,910万円 ・病院群輪審制病院 8,020万円 等 ○補助率 1/2 ○対象経費 ・建物の工事費又は工事請負費(病棟(室)、受水槽、エレベータ等) ・建物と一体として復旧を行う必要がある医療用設備(CT、MRI等)
※ 復旧事業は1件につき80万円以上であること ※ 補助基準額、対象経費は交付対象施設により異なる		

(厚生労働省HP)

# 医療提供施設に係る復旧・復興支援策

名称	対象区分	補助率	対象経費	監督省庁
<b>医療施設等災害復旧費補助金</b>	<b>公的医療機関 政策医療実施機関</b> 在宅当番医制歯科診療所 休日等歯科診療所 在宅医療実施歯科診療所	2分の1	建物の工事費又は工事請負費 建物と一体として復旧を行う必要のある医療用設備	厚生労働省
〈東日本大震災〉被災地域医療確保対策緊急支援事業	仮設歯科診療所整備 歯科巡回診療車整備		施設整備＋医療機器 19,914千円 自動車購入費＋医療機器 16,829千円	厚生労働省 (第一次補正)
〈東日本大震災〉診療機能回復費補助事業	政策医療実施機関 沿岸全医療機関	4分の3	既存施設の修繕 施設の新築	都道府県 (平成23年)
〈東日本大震災〉被災地医療施設復興支援事業	在宅療養支援歯科診療所 休日等歯科診療所	4分の3	全壊又は大規模半壊被害の移転新築	都道府県 (平成24年)
<b>中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業</b>	地域の復興に役立つグループ(協同組合、商店街、 <b>歯科医師会</b> ・・・)	2分の1(国) 4分の1(都道府県)	復興事業計画の施設・設備	中小企業庁
東日本大震災事業者再生支援機構	東日本大震災で被災した事業者(債務者)		二重債務、返済猶予、利息減免、債権放棄	復興庁

## 発災時の救援物資の流れ



## 歯科診療所支援

県内会員から700品目の歯科用器具・機材調達  
ポータブル歯科用ユニット・充電式技工用エンジン  
歯科用品商・メーカーから、展示品・中古品機材



17) 抜歯用ヘベル



18) 根管治療ファイル、シーラー



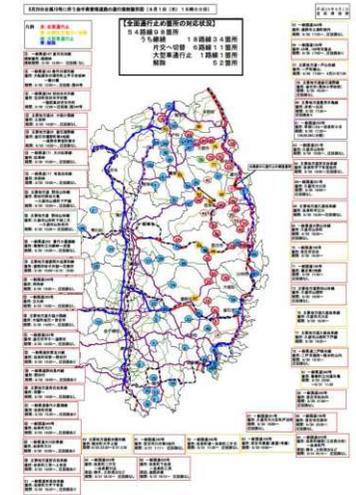
19) リーマー、ファイル各種



20) 抜歯用歯子

## 2016年 台風第10号に伴う岩手県被害状況

- ・ 人的被害  
死亡20名 行方不明4名
- ・ 住家被害  
全壊18棟、半壊204棟、一部損壊191棟、  
床上浸水598棟、床下浸水689棟  
計1700棟
- ・ 避難者数  
442名
- ・ 通行規制状況  
55路線 122箇所
- ・ ライフライン  
停電41807戸、断水726戸
- ・ 孤立集落





**【1回目】大船渡市三陸町綾里字田浜下地内発生**

①経過 覚知日時：令和7年2月19日 11:55  
鎮圧日時：令和7年2月25日 15:05  
鎮火日時：令和7年4月7日 17:30

②延焼範囲 約324ha



**【2回目】陸前高田市小友町字柳沢地内発生**

①経過 覚知日時：令和7年2月25日 15:19  
鎮圧日時：令和7年2月26日 12:00  
鎮火日時：令和7年3月11日 10:30

②延焼範囲 約8ha  
※大船渡市末崎町地内まで延焼

**【3回目】大船渡市赤崎町字合足地内発生  
(令和7年大船渡市大規模林野火災)**

①経過等 覚知日時：令和7年2月26日 13:02  
鎮圧日時：令和7年3月9日 17:00  
鎮火日時：令和7年4月7日 17:30

②延焼範囲 約3,370ha  
※2月19日発生 of 火災の延焼範囲を除く

【1回目】大船渡市三陸町綾里

【2回目】陸前高田市小友町

【3回目】大船渡市赤崎町

※第2回大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会資料を基に作成

防災無線に今後「お薬手帳、お薬、入れ歯を忘れずに持って逃げてください」とアナウンスする

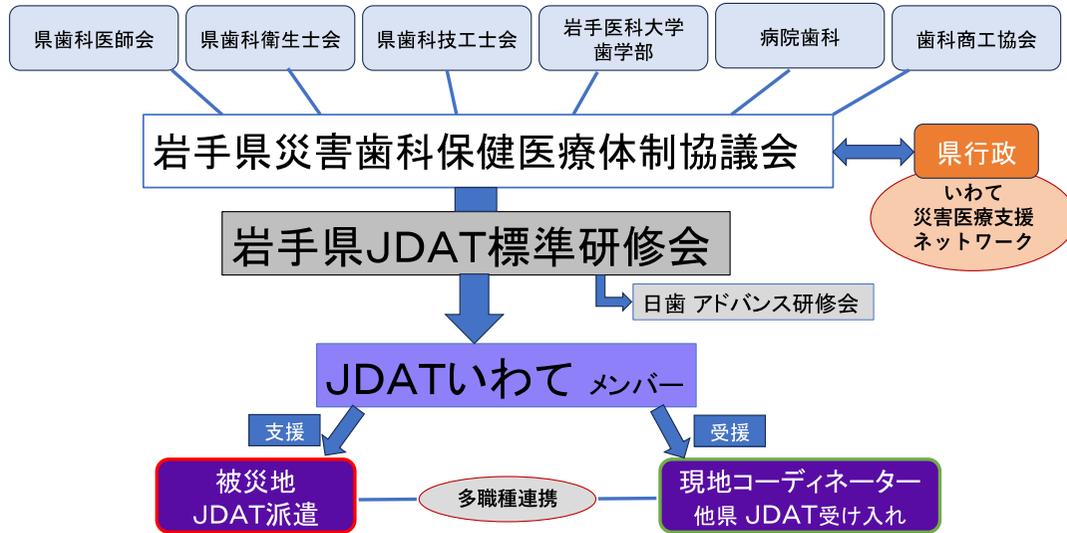
避難所等の名称	避難所等の立地する市町村	避難所等の連絡先
趣喜来小学校	大船渡市	石水様(市職員)
2025年3月7日(金) 10時 45分ごろ		
2/7 火(3月7日現在) 車中泊		
その他		
避難所等の名称		
氏名・所属		

項目	確認項目 (確認できず複数項目を具体的に内容を書き)	評価	評価基準 (参考)
(1) 避難所等の確保	a 受け可能な近隣の避難所(避難所・公民館・学校・公民館・公民館・公民館等) 2箇所以上 9不明	○	○ 避難所確保の確保 ○ 3日に1回は可能 △ 週に1回以下 - 確保 × 不明
(2) 避難所等の環境	a 避難所等の水 1. 1. 2. 3. 9不明	○	○ 3日以内の確保 ○ 不自由ない ○ 特定の用途のみ、または短期間確保の状況がある × ない - 不明
(3) 避難所等の設備	a 1. 2. 3. 9不明	○	○ 3日以内の確保 ○ 不自由ない ○ 特定の用途のみ、または短期間確保の状況がある × ない - 不明
(4) 避難所等の設備	a 1. 2. 3. 9不明	○	○ 3日以内の確保 ○ 不自由ない ○ 特定の用途のみ、または短期間確保の状況がある × ない - 不明

防災無線に今後「お薬手帳、お薬、入れ歯を忘れずに持って逃げてください」とアナウンスするとよいと思うと避難者からのお話あり

高齢者95の方は、かたいご飯で食べにくいと言っていた

受付が多忙で、疲れている感じがした



**震災対応のポイント**

- ・災害支援は日頃の地域包括ケアシステムの延長
- ・被災地状況に柔軟に対応